ゲーム感覚「清走中」諏訪湖畔でも

ごみ拾い楽しもう

21日 学生団体主催 参加呼び掛け

諏訪市湖畔公園などで諏訪湖のごみ拾いとゲーム感覚の鬼ごっこを組み合わせたイベント「清走中」を21日午前9時から行う学生団体「Gomitomo（ゴミトモ）」は2月28日、同公園で会見し、多くの参加を呼び掛けた。運営協力者も募った。主催団体代表で長野高校3年の北村優斗さん（17）＝長野市＝は「みんなでワクワクしながらごみ拾いをして遊ぼう」と協力を求めた。

同団体は「2030年までにポイ捨てのない社会の実現」を目指しており、ごみ問題について「楽しさ」を入り口に関心を持ってもらおうと、同イベントを企画した。参加者が「ハンター」と呼ばれる鬼から逃げ切るルールの人気テレビ番組「逃走中」の要素を組み込むことで、ごみ拾いが「つまらない」から「楽しい」に変わるよう工夫した。公園内や諏訪湖畔のごみを拾いながら、運営本部が無料通信アプリ「LINE」を通じて送る「ミッション」を達成し、得点を重ねていく。「逃走中」と同様にスーツ姿のハンターから逃げ切ることができれば最終結果に反映される。

会見後に諏訪湖畔のごみを拾う北村優斗さん㊧、海沼怜さん㊨ら

諏訪湖で行う同イベントは、3月9日の長野市を振り出しに始まり、上田市（13日）、松本市（19日）、飯田市（20日）と続く「清走中」の最終回。諏訪湖は、受験勉強に悩んだ北村さんの心を癒やし、気持ちを再び前向きにさせた思い出の場所。「諏訪湖がきれいになればきっと、長野県全体がきれいになる。一連のイベントの最終回は思い入れのある諏訪湖で」と語った。